

平成最後の年

平成は戦争のなかった時代

新しい元号は4月はじめに発表予定

最も期間の永い元号は昭和…62年14日

最も期間の短い元号は暦仁（りやくにん）…2か月14日

（1238年12月30日～1239年3月13日）

いずれにしても、時代の大きな節目となる

「節目」といって思いつくのは「竹」

竹は、非常に不思議な植物

タケは、草の仲間なのに、木のような固い部分をもつ

多くの植物は、茎の先端に成長点と呼ばれる分裂組織があり、ここで活発に細胞分裂が行われる

竹にも多くの植物と同様に先端部に成長点があるが、全ての節に成長帯と呼ばれる帯状の分裂組織があり、ここでも細胞分裂が行われる

一本の竹には約60個の節があるといわれていて、各々の節は同時に成長し、まるで提灯を広げるように、一気に背を伸ばすことができる

節は筍の時からすでに備わっていて、成竹になっても節の数が増えることはない

このように竹には多くの分裂組織があるために、急速に成長できる

種類によっては、1日で1 m以上伸びることがある

この節について、山梨大学や北海道大学、熊本県立大学などの研究者で構成される研究チームは2018年2月11日、野生の竹がなぜ節をもつのか、その謎を科学的に解明したと発表し、アメリカ物理学会発行の学術雑誌に掲載された

竹は中身が空洞で、ところどころに節を持つことが知られているが、多くの植物の中で竹だけがこうした特徴を有する

今回、研究チームは、野外調査で得た測定データと、構造力学理論に基づく数理解析を活用して調査を行った結果、互いに隣り合う節と節の間隔が、ある一定のルールに従うよう絶妙に調節されており、結果として、野生の竹が「軽さ」と「強さ」を併せ持つ理想的な構造を「自律的に」形成していることを突き止めた

終業式では「振り返り」について話した

その「振り返り」をもとに、新たな節目をつくる

自分が、何をめざして伸びてゆくのか「新年の抱負」をしっかりと考えよう

より高く、より多くの光を求めて、竹のように伸びてほしい